

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月18日

大分県知事 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市中央区薬院 1－14－5

氏 名 西松建設株式会社九州支社

常務執行役員支社長 吉田 卓生

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 092－771－4124（担当：浦吉）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西松建設株式会社 九州支社
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区薬院 1－14－5
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	3,362億円（全社）
③従業員数	2,762人（全社）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・手戻りをなくし、廃棄物増加の防止を図った。 ・過剰梱包を極力減らした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・手戻りをなくし、廃棄物増加の防止する。 ・過剰梱包を極力減らす。 ・鉄筋、型枠類のプレカット化をより促進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建設資材廃棄物以外の品目も極力分別し、混合廃棄物量の削減を図った。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建設資材廃棄物以外の品目も極力分別し、混合廃棄物量を大幅に削減する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・可能であれば建設汚泥・コンクリートがらの自ら利用を実施する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

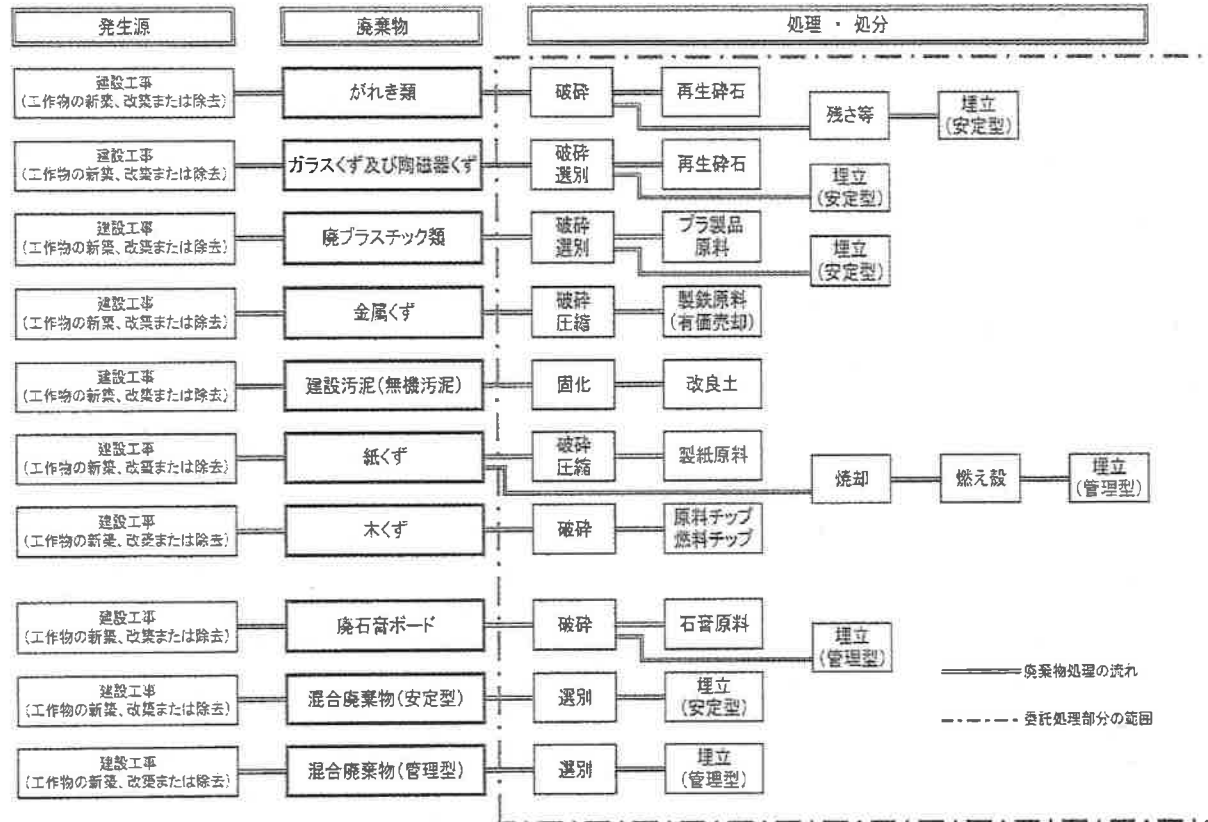
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託する処理施設の適正処理状況を確認した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 委託する処理施設の適正処理状況を確認する。		
※事務処理欄			

(第1面別紙) 産業廃棄物の一連の処理の工程



混合廃棄物は選別後、再生利用できる品目はすべて再生利用施設へ搬出している。

別添 2 管理体制図

建設副産物の管理体制表

九州支社

作成日: 2019 年 5 月日

<支 社>

支社長(支社責任者)

安全環境品質委員会(推進諮問機関)
【委員】支社:ライン管理者他、現場:所長

現場工務革新センター(推進機関)
【センター長】: ◇◇ ◇◇
【グループ長】: 該当現場のグループ長
【環境コーチ】: △△ △△

<現 場>

店所名: _____

所長(建設副産物処理責任者)
□□ □□

◎建設副産物担当者
△△ △△
◎マニフェスト管理責任者
▲▲ ▲▲
※特管物を排出する場合
◎特別管理産業廃棄物管理責任者
* * * *

※環境管理点検表 10-1 に係る「処理施設」を設置する場合
◎産業廃棄物処理責任者(廃排法第 12 条第 5 項)
◇◇ ◇◇
◎産業廃棄物処理技術管理者(廃排法第 21 条項)
◆◆ ◆◆

<災害防止協議会>

委員長:所長

委員:西松建設職員
委員:協力会社 担当者

※必要に応じて産廃処理業者を
委員とする

職長会

産廃処理業者
(収集運搬、中間処理、最終処分)

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和5年度)実績量
計画:今年度(令和6年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行)量	自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行)量	処理の委託											
	排 出 量			自ら熱回収を 行った(行)量		自ら中間処理により 減量した(する)量			全 処 理 委 託 量		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		再生利用業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			
											現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	525.80	473.22	—	—	—	—	—	—	—	—	525.80	473.22	525.80	473.22	525.80	473.22	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	28.70	25.83	—	—	—	—	—	—	—	—	28.70	25.83	13.65	12.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず*	6.75	6.08	—	—	—	—	—	—	—	—	6.75	6.08	5.85	5.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず*	279.41	251.47	—	—	—	—	—	—	—	—	279.41	251.47	278.03	250.23	243.65	219.29	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	0.60	0.54	—	—	—	—	—	—	—	—	0.60	0.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	1,195.76	1,076.18	—	—	—	—	—	—	—	—	1,195.76	1,076.18	0.00	0.00	1,195.76	1,076.18	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	4.00	3.60	—	—	—	—	—	—	—	—	4.00	3.60	0.00	0.00	4.00	3.60	0.00	0.00	0.00	0.00
その他がれき類	1.48	1.33	—	—	—	—	—	—	—	—	1.48	1.33	1.48	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(安定型)	4.68	4.21	—	—	—	—	—	—	—	—	4.68	4.21	4.68	4.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	0.65	0.59	—	—	—	—	—	—	—	—	0.65	0.59	0.65	0.59	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2,047.83	1,843.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,047.83	1,843.05	830.14	747.14	1,969.21	1,772.29	0.00	0.00	0.00	0.00